

10. 小腸がん

○	○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん ※別紙5に入力した内容が反映されています。 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要	集学的治療・標準的治療の提供体制 ○:あり ×:なし	○
---	--	-------------------------------	---

	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日					当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法	体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
				開腹手術	腹腔鏡下手術					治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1	外科・消化器外科	8	2	状況 ○	○	○	×		比較的まれながんで、出血などで偶然発見されることが多いですが、基本的には大腸がんに準じて治療を行っています。保険適応になっている抗がん剤が限られているため化学療法が必要な場合、使用できる抗がん剤の選択肢が少ないのが難点です。	ア 外科・消化器外科 イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載あり
2	消化器内科	5	5	状況 ×	×	○	×		合同カンファレンスにて治療方針を決定しています。	ア 消化器内科 イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載あり
3	放射線科	4	1	状況 ×	×	×	○			ア 放射線科 イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載あり
4				状況						ア http:// イ http://			
5				状況						ア http:// イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:乳頭部がん、十二指腸がん 十二指腸乳頭部がん	